



ガソリンスタンドで給油中に火災が発生

ガソリンはとても引火しやすいので取扱いには注意が必要です!

市内のセルフ式ガソリンスタンドにおいて、ガソリンを給油中に静電気が起因と考えられる火災事故が発生しました。

現在、豊橋市では、11月下旬から降雨がなく、空気が非常に乾燥しており、火災が発生しやすい状況になっています。

車両に給油する際には、以下のことに注意し安全に給油してください。

ポイント1 車の窓及びドアを閉め、エンジンを停止する

ポイント2 給油する前に必ず静電気除去シートにタッチする

給油中エンジン停止



冬場は空気が乾燥しているため、静電気が発生しやすくなっています。
体に帯電した静電気の火花が原因で、ガソリンの蒸気に引火することがあります。

ポイント3 オートストップ機能で自動的に給油が止まったら、給油を終了する

継ぎ足し給油は、ガソリンの吹きこぼれの原因となります。
吹きこぼれたガソリンに引火することもあり大変危険です。



- ガソリンスタンドでは、どんなに小さな火でもガソリンに引火すれば大事故になるため、「火気厳禁」です。
- 子供に給油させない。給油中は付近に子供を近づけさせない。
- セルフ式ガソリンスタンドで顧客自らが携行缶にガソリンを入れることはできません。